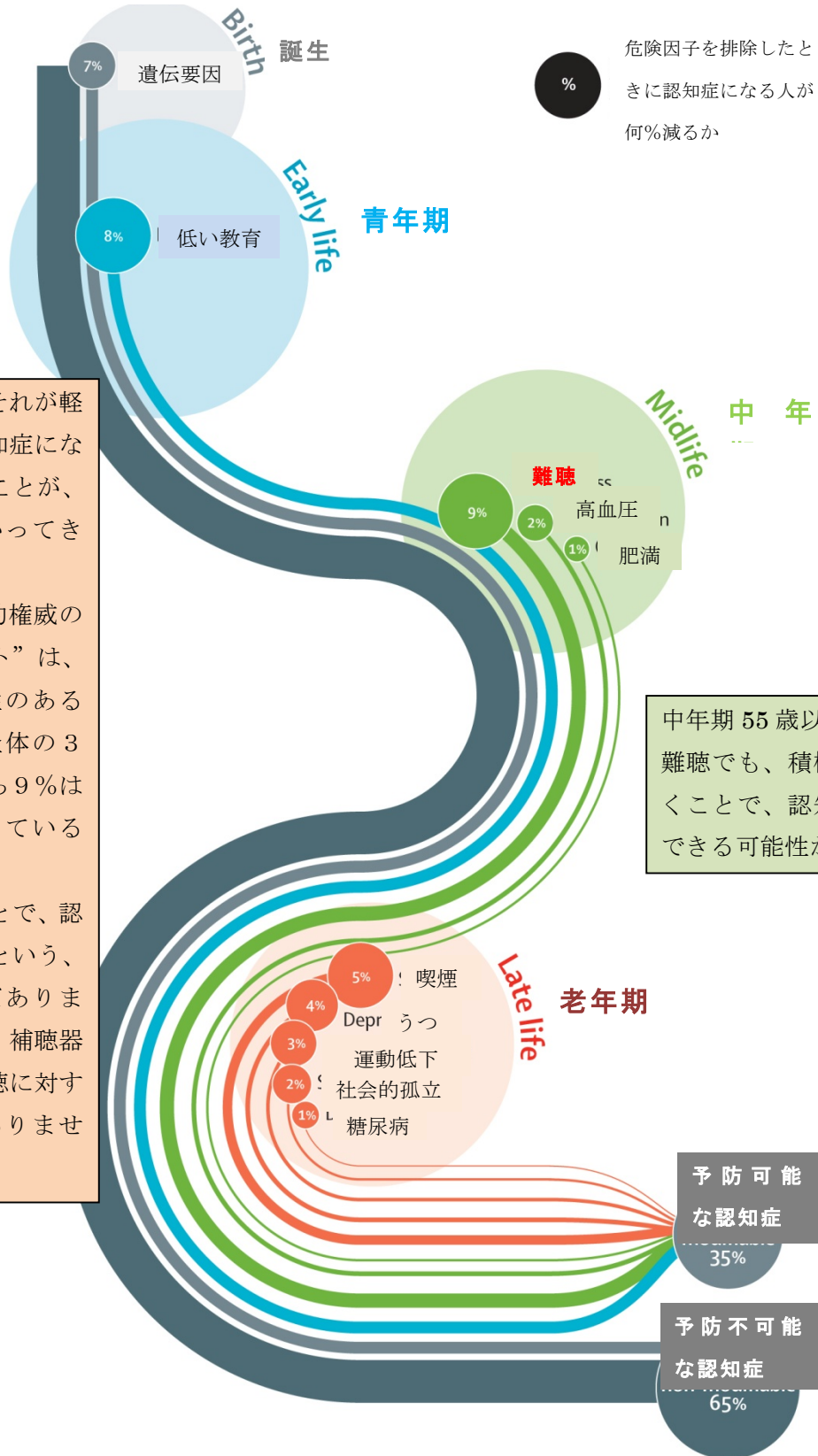


## 認知症の危険因子

ランセット・コミッション プレゼンツ 「新しい人生モデル」

認知症の危険因子：“予防できること”と”予防できないこと”



難聴があると、それが軽度の難聴でも、認知症になる危険性が高まることが、最近の研究でわかってきました。

2017年、世界的権威の医学誌“ランセット”は、予防できた可能性のある認知症が認知症全体の35%あり、このうち9%は難聴が原因になっていると発表しました。

補聴器をすることで、認知症を予防できるという、確かな証拠はまだありませんが、現状では、補聴器をする以外に、難聴に対する有効な方法はありません。

中年期 55歳以降からは、軽度の難聴でも、積極的に対処していくことで、認知症の発症を予防できる可能性があります